

## ◆ わたしの視点 10 ◆

### 議員の役職は目的と使命感を持って

議員の役職（ポスト）って何だろう？私も17年間議員を務めて来たが疑問に思う事が時にはありました。役職を欲しがると議員の目的や使命感が伝わってこない事が人に依ってはあったのです。かく言う私も平成15年の市議選後の議会人事で、初めて議長選に名乗りを上げました。様々な役職を務めさせて頂きましたが、自分の意思で議長になりたいと思ったのはその時だけでした。前年には市長も変わり、より良い合併を成し遂げるには議会がリードしていかななくてはならない。その為に町村の議員さんの理解も得て事を進められるのは自分だと思い名乗りを上げたものでした。結果は数で負けてしまいましたが、目的と使命感を持って務めるべき、と考えていた私にはその時において他に役職に就きたいと思ったことはありませんでした。皆さん議長、委員長になると偉いと思っているのか、特別な仕事が出来ると思っているのか疑問に思うのですが、普段の議員活動の中で役職が必要になることは私の中では無かった。私の役職を選ぶ時の考え方は、この為に、今だから、この役は、私が（又は、誰に）と考えて決めるべきだと思っています。役職が仕事（能力）を与えるのではなく、仕事（能力）が役職を与えると言ったら言い過ぎでしょうか。今、議員の大切な職務は合併前の旧市町村の財政締め括りに問題が無かったか検証すると同時に引き継ぐべき行政事務・事業が間違い無く移管されているか調査する事。更には合併後の新市行政事務、事業がスムーズに進んでいるかを調査し、問題点や不足を確認する。それらの事に対し休会中の各委員会に於いて事務調査を行い議論を深め本会議の中で市執行部へ行政運営について提案すべきである。議長、委員長は会議の采配を的確に行い議会が行政運営に停滞を生じさせてはならない。その為に仕事の割り振りや議会構成を考えて決めたはずで、何よりも今、市民の皆さんが期待と不安の中で新市の行政、議員・議会の動向に注目している事を忘れないで欲しい。村上市の為に市民が存在するのでなく、市民の為に村上市が存在するのです。